

公益財団法人サントリー生命科学財団(以下、生科財団)は、「生物有機科学に基づく生命科学分野の研究を行うとともに、この分野に於ける学術を奨励助成し、人類の幸福と持続的な繁栄に寄与する」ことを理念とし、基幹となる研究課題を「天然有機化合物の多彩な生物活性のメカニズムの解明」「生物種の多様性と共存の真髄への肉薄」「世界最先端の要素技術の有機的連携」としています。

生科財団の博士客員研究員制度は、学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成を目的とし、優れた若手研究者が、その研究活動を開始する初期において上記の研究分野に関連して自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら、生科財団生物有機科学研究所(以下、生有研)において独立もしくは生有研研究者と協働して研究に専念する機会を与える制度です。

本年度は、下記の要領で生科財団博士客員研究員(外国人含む)を公募します。

1. 研究課題:

上記の基幹研究課題のうち、特に「生物種の多様性と共存の真髄への肉薄」の実現を目指し、「神経ペプチドが制御する生物種の存続と拡大の機構」について、生有研・佐竹炎主幹研究員と協働して遂行します。

2. 研究期間:

原則3年(年度ごとに契約更新を行います)。業績に応じて1年の延長を可とします。

3. 募集人員: 1名

4. 応募資格: 募集する研究課題に関連する分野で博士の学位を取得した者で、

Proteomicsやpetidomics研究の経験か次世代シーケンサー解析の手法をマスターしており、生殖内分泌学の高い専門性を有する、もしくは、これらの手法や専門性の習得に意欲的に取り組む意志がある者が望ましい

5. 年齢制限: 着任時に30歳前後が望ましい

6. 募集締切: 適任者が見つかれば次第締切

**2012年10月17日締め切りました**

7. 着任時期: 2013年4月1日以降

8. 応募書類:

以下の書類を、郵送およびEメール添付にて、下記申請書送付先担当者宛に送ってください。(Eメール添付の場合は件名を「生科財団博士客員研究員応募書類」としてください。)

1. 書式2

2. 学位指導教員もしくは在籍中あるいは出身大学の学長ないし大学院研究科長等による推薦状

9. 選考方法:

生科財団選考委員会において応募書類による一次選考と面接による二次選考を行い、生科財団理事長により採用を決定します。

・申請書送付先

〒618-8503 大阪府三島郡島本町若山台 1-1-1

公益財団法人サントリー生命科学財団事務局企画部 南方宏之 e-mail: minakata@sunbor.or.jp

\*研究課題、応募資格等に対して質問等がある場合は、佐竹(satake@sunbor.or.jp)まで